

第四次総合計画 (新津山市建設計画) ごみ処理センター、福祉 (NPO法人)

新風会 庄司 勝義



質問 ↓第四次総合計画が未だ計上されていない。過疎対策事業、中山間事業についての位置付け。

答弁 ↓当面は、合併前からの継続事業や住民生活に直結する生活環境の整備に関する事業などを優先実施する。
質問 ↓①久米生涯学習センターの建設。

答弁 ↓設計、施設概要を見直し、第四次総合計画の中でどのように整備するか検討中。

質問 ↓②久米中学校、中正、秀実小学校の耐震化の計画は。

答弁 ↓各学校の耐震診断を行い、いずれも耐震補強の必要性が確認された。第四次総合計画において年次的に実施したい。

質問 ↓③優良保育所は水害三回、新築、移転。

答弁 ↓主要事業として総合計画で検討する。

質問 ↓ごみ処理センター、障害者自立支援法 (NPO)。
答弁 ↓NPOへの条件が緩和され継続に向け支援。

津山を国内外へ情報発信できる企業の誘致!

政津クラブ 秋山 幸則



山市で製作する話し合いが進められている。税財源の確保と雇用の創出のためにも企業誘致を成功させるための助成・優遇策はあるのか。津山市の協力体制は確立できるか。

答弁 ↓津山市企業立地促進奨励金、工業設備資金利子補給制度や固定資産税減免相当額を奨励金として交付する制度がある。定住化・人口増につながる企業に手厚くする等メリハリのある戦略を立てて対応する等検討したい。津山ブランドとして国内外に情報発信も期待できる。可能な限り支援・協力をしていきたい。

質問 ↓核融合科学研究所と㈱テクノバは、落雷が発生しても工場等に電力を安定供給できる世界初の新型「超電導エネルギー貯蔵装置」を開発し事業化のため超電導機構会社を設立、津

新市長。アルネにどうケジメをつけるのか

新世紀の会 竹内 靖人



質問 ↓必ず貰えるとしてきたアルネ津山への県支援金二十億円が貰えない場合に新市長はどう考えるか。また、責任がどこにあるのか明確にする必

要があるのではないか。財政に与える影響、今後の公金投入はどうか。

答弁 ↓重要な課題。現実を受け止め、県の現行制度の中で新しい視点や考え方でお願ひしていくことも一つのケジメ。柔軟な姿勢が必要ではないか。

答弁 ↓県の関係の詳細は知らない。行政の継続という意味では私が解決を図るべき課題。県とも十分協議していく。公金投入は考えていない。

答弁 ↓アルネ津山内の地域防災施設整備事業の財源として地方債を発行 (借金) している。支援がなければ少なからず影響があると考えられる。

東京事務所の廃止について

津山新星会議 吉田 耕造



など、目に見えない成果も無視出来ないのでは無いか。今後、企業誘致活動などは、二十一世紀の津山市のまちづくりには、大変重要な要素であると考えている。存続を強く要望する。

答弁 ↓廃止の理由は、開設から十年たち、大きく環境が変化したということ。インターネットの活用が進み、中央省庁の情報も、ネットで東京事務所と変わらない情報が得られる環境になった。捨てがたい機能であるが、費用対効果の視点から、今一度見直し、廃止の方向で検討する。

質問 ↓東京事務所は、廃止の方向で検討されているように思えてならない。人と人の繋がりによる、情報収集